

## 第11回日本公衆衛生看護学会学術集会

## 優秀演題賞

第11回日本公衆衛生看護学会学術集会

学術集会会長 安齋由貴子

学術集会副会長 只野 里子

当学術集会における優秀演題賞を以下の通り決定いたしました。

部門	受賞演題
研究報告	<p>1-5 保健師の地区活動における住民/住民組織との パートナーシップ構築技術の明確化</p> <p>遠藤 真澄, 岩本 里織 神戸市看護大学</p> <p>5-3 入院を拒否する COVID-19 の陽性者への 熟練保健師による支援技術</p> <p>鈴木 良美<sup>1)</sup>, 藤井 広美<sup>2)</sup>, 山下 留理子<sup>3)</sup>, 斉藤 富美代<sup>4)</sup>, 河西 あかね<sup>5)</sup>, 室山 孝子<sup>6)</sup>, 深津 恵美<sup>7)</sup>, 山本 裕美<sup>8)</sup></p> <p>1) 東京医科大学 2) 杏林大学 3) 徳島大学 4) 埼玉県朝霞保健所 5) 東京都多摩府中保健所 6) 横浜市都筑区福祉保健課 7) 北海道江別保健所 8) 日野市健康課</p>
活動報告	<p>優秀演題賞審査規定に則り、①査読結果によるノミネート、②オンライン発表（動画、PDF 発表）の条件が満たされた 13 演題を対象とし、選考基準に基づいて審査を行いました。残念ながら、活動報告については、ノミネート演題の中でオンライン発表した演題がありませんでした。新型コロナウイルス感染者の蔓延が続く中での開催でしたので、オンライン発表の準備をすることが厳しい状況にあったことと存じます。本学術集会では「該当なし」とし、次回学術集会での発表を祈念しております。</p>

以上